

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

シーサイド

(ユニット名)

げんき

記入者(管理者)

氏名

小笠原 望

評価完了日

平成 20 年 1 月 10 日

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | <p>(自己評価)</p> <p>開設当初からの法人基本理念に基づいて動いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者・職員が元気に笑顔で寄り添い暮らしていけるよう、ユニット毎に「元気」「笑顔」の理念を掲げておられる。</p> | | <p>できれば職員みんなの言葉で自分たちの思いをこめたものを作り上げたい。</p> <p>事業所では、地域密着型サービス事業所として、どのようなことを目指していくのかということ、理念に盛り込むことを考えておられた。</p> |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | <p>(自己評価)</p> <p>理念はフロアに掲示し日頃から職員と意見交換しながら共有し実践に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>管理者・職員は申し送り時や日々の業務の中で、理念について話し合っておられる。</p> | | |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | <p>(自己評価)</p> <p>理念はフロアに掲示し入居相談時に説明している。</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|---------------------------|---|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 玄関前にベンチを用意しつつでも誰でも気軽に来ただけようしている。畑作業や散歩時に地域の方に野菜の交換をしていただき感謝している。入居前に利用していたスーパーへ買い物に行き懐かしい人との会話を楽しむこともある。 | | 以前のホテルのイメージが強く、島の地域性もありなかなか思うように気軽に誰でも訪れていただけることは難しい。 |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 地方祭には獅子舞が来てくれたり、夏祭りにはご近所の方や学生のボランティアの参加協力をいただいた。定期的に保育所や民生委員さんの訪問がある。 (外部評価) 町の文化祭には、利用者の絵手紙や陶芸等の作品を出品された。札所掃除をされる際に、地域の方達とも交流されている。 | | |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 毎年島四国遍路の縁日には入居者と職員が協力し、遠方からの巡拝者へお接待し信仰篤き島の行事を受け継がせていただいている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 今までの関わりでいいのか検証し、振り返る貴重な機会だと認識し、全体で取り組む大切さを感じている。 (外部評価) ユニット毎に評価項目について話し合わせ、責任者がまとめられた。職員は、サービス評価の機会を日々のケアを振り返る機会とされていた。前回の外部評価結果を受けて、地域の方が訪ねやすい場所作り等に取り組まれている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 2ヶ月に1回開催している。ありがたいことに参加者がホームを自分のこととしてとらえ、活発な意見を頂いている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 運営推進会議では、事業所の行事や取り組みの様子等をお伝えし、意見交換されている。ご家族より夏祭りの進め方について提案をいただいた。 | | 今後事業所では、包括支援センターや利用者にも会議に参加いただき、意見を出していただけるよう取り組みたいと考えておられた。 |
| 9 | 6 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 支所の推進会議メンバー以外にも市役所高齢介護課より訪問があり率直な意見をいただいている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所の隣に小規模多機能事業所を建築中であり、市の担当者の訪問がよくあり、市の担当者と連携が図れるよう話し合われている。 | | |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 成年後見制度を利用し後見人さんが訪問してくださったり電話等での連絡を密にしています。 | | |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 施設内研修等で定期的に勉強会を実施している。困難事例検討時にも職員間で意思統一し防止に努めている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約時、重要事項説明等で十分説明をしてご理解・納得がいただけるようにしている。 | | |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 受付にご意見箱を設置している。契約時、重要事項や苦情のフローチャートで周知をしている。また職員にも苦情処理のシステムを徹底している。 | | |
| 14 | 7 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | (自己評価) 毎月シーサイド新聞の配布している。その際、個別で暮らしぶり等状態をお知らせしている。ご本人の写真を入れたお年賀や暑中見舞い、絵手紙なども入居者さんと送り送らせていただいている。つど都度電話にて連絡調整もしている。 | | |
| | | | (外部評価) 職員手作りの「シーサイド新聞」には、行事の様子や来月の予定等を載せて、毎月、ご家族に送付されている。 | | |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 受付にご意見箱を設置している。契約時、重要事項や苦情のフローチャートで周知をしている。また日ごろより家族とも会話によりなんでも言い易い関係づくりが心にかけている。家族会でもご意見をいただいている。 | | |
| | | | (外部評価) クリスマス会を兼ねて年1回、家族会を開催されている。利用者の様子や表情を見ていただき、ご意見をいただくようにされている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) ミーティングや日々の会話から率直な本音の意見を引き出せるようにし前向きに検討している。 | | |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 希望を取り入れた勤務表の作成と緊急時の対応もスムーズに行えるよう話し合って調整している。 | | |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 馴染みの関係も大切にしつつ法人間での人事異動についても利用者のダメージを最小限に防ぐよう、諸行事などを合同で行うなど工夫している。また、定期的に双方の現状をつかみながら運営している。 | | |
| | | | (外部評価) 職員の異動や離職の際には、馴染みとなっている職員がフォローをされ、利用者のダメージを防ぐようにされている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 外部研修は朝会やミーティング時にほかの職員にも伝達し、内部研修はミーティング時にその都度必要事項について学習会を開催できるよう努めている。現場研修はマンツーマンで互いに成長できるよう取り組んでいる。 | | |
| | | | (外部評価) 事業所では、外部研修の年間計画を立てて、在宅介護支援センターでの研修等にも参加されている。毎月のミーティング時等には、テーマを決めて学習会等もされている。 | | 管理者は、さらに、事業所の質の向上を目指すためにも、人材育成に力を入れたいと考えておられる。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) | | |
| | | | 研修の機会を通じてのネットワークづくりや法人内の事業所間の合同ミーティングを開催している。また毎月、関係施設合同の会議の開催時は困難事例等について話し合っている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 夏祭り等、利用者・職員も一緒に地域の他の事業所と交流されている。年に1回、風船バレーを楽しむ機会等もある。職員は、他の事業所と交流することにより、対応や声かけの違い等にも気が付きがあり、学ぶことも多いと話しておられた。 | | |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 定期的な親睦会の開催や日常的に会話のなかで聞き取りしている。施設内の岩盤浴も職員に開放している。 | | |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 常日頃から意欲を持って働けるよう声かけしている。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) | | |
| | | | 入所の際から利用者本人とコミュニケーションを取る前に、相談時から希望・不安等についても伺い、どうすればいいかを考えている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 入居時からしっかり情報収集し、利用者についての家族からの意向を状態に応じ伺い、より良い介護ができるように家族の意見を大切にしている。 | | |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 随時状態に応じた介護サービスが行えるよう、利用者・家族に伺いながら、また、日常生活で観察を行い、より適切なサービスが行えるよう努めている。 | | |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) フロアでのレクや外へ出て一緒に活動する中で利用者間やスタッフとの関わりを持つ場を増やしていている。また、随時利用者本人や家族からの情報をもとに、得意なことや好きなことを探っていている。 (外部評価) 入居間もないころは、食事時間等、利用者のペースに合わせながら、事業所の生活に馴染んでいただけるよう支援されている。管理者が、夜間にご本人が落ち着かれるまで見守りをされている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 利用者の得意なこと、好きなことはしてもらったり、教えてもらったりしながら一緒に生活している。 (外部評価) 職員は、以前、畑仕事をされていた利用者の方から苗の植え方や育て方を教わっている。季節の野菜を使った漬物や梅干は、利用者と一緒に作っておられる。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|---------------------------|--|
| 28 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 随時家族の意向を伺い、尊重しながら利用者本人にとって一番良い介護を行っていきけるよう努めている。 | | |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) 夏祭り、クリスマス等の行事を家族と一緒にやる他、家人とスタッフが連携を取り、日常生活等を伝えたり、定期的な園内新聞を送ることで、家族と利用者の関係をよりよいものにしようと支援している。 | | |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) 地元外の入居者多い為、場との関係は難しいが、手紙等のツールを用い、人との関係が途切れないような努力をしている。 | | |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) 入居者間で生まれた絆や関係性を把握し、孤立しないように努めている。また、レクを通し、入居者内で楽しく生活できる関係作りを持てる場を提供している。 | | |
| 32 | | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 実家ではなく入院等による退所等が多い為、お見舞いに行く等により、利用者・家族とも交流があり継続した関係を持っている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|---|---|---------------------------|--|
| <p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> | | | | | |
| <p>1.一人ひとりの把握</p> | | | | | |
| 33 | 14 | <p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>日頃積極的にコミュニケーションを取ることで利用者本人の意向を探り、ケアに生かしている。また、定期的にカンファレンス・ミーティングを行うことで、本人の意向についてスタッフと考え、統一したケアを目指している。</p> | | |
| | | <p>(外部評価)</p> <p>日々の申し送り等で、職員個々の気付きや利用者の声について話し合わせ、センター方式の書式を用いて、利用者個々の思いの把握に努めておられる。</p> | | | |
| 34 | | <p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>入所時に本人・家人からアセスメントを行う他、日頃の生活からもコミュニケーションを取ることで情報を増やしている。</p> | | |
| 35 | | <p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>申し送りを行うことでスタッフが前日からの流れを把握し、また、バイタル測定や日中の様子を他方向から見ることで総合的に把握するように努めている。</p> | | |
| <p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p> | | | | | |
| 36 | 15 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>日々の生活の中で利用者本人の意向や家族の意向、また、状態に応じ必要だと思われる介護サービスをスタッフ間で定期的に話し合いプランに反映している。</p> | | |
| | | <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、職員で意見を出し合い作成されており、現在、気になる点についての支援を職員で話し合い、家族の来訪時や遠方のご家族には電話で説明をされている。</p> | | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 定期的に見直し、利用者の状態が変化したりプランが合わないと思った際は、スタッフや家族・利用者と話し合い、適切なプランをたてている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 介護計画は6ヶ月ごとに見直し、3ヶ月で評価モニタリングされている。随時見直しもされている。見えるところに置いて、職員で共有して取り組んでいる。 | | |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 日々の状態を記録に残すことでスタッフ間でケアの見直しを行い、ケアに生かしていくよう努めている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所では、利用者の通院の送迎やご家族の宿泊等、利用者、ご家族の希望に合わせて柔軟に支援されている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) 地域の方とコミュニケーションを持つ場を設けたり、ボランティアも積極的に受け入れるようにしている。 | | |
| 41 | | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) | | |
| 42 | | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) | | |
| 43 | 18 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 月1回程度は最低協力病院を受診している。また、利用者の希望では他病院の受診も行えるよう支援している。 (外部評価) 協力病院の他、ご本人の希望するかかりつけ医を受診される方もおられ、往診にも来てくれるようになってきている。 | | |
| 44 | | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 協力病院にて認知症診断、治療をしている。また、相談も行える。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 45 | | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 定期的な病院受診や協力病院と連携を取ることで利用者を医療面からも支えるようにしている。 | | |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 協力病院と連携を取ったり他病院に入院した際も連絡し合うことで早期退院や利用者の安心に努めている。 | | |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 病院での診断を定期的に行い、利用者の現状を家族に把握してもらうことで、終末期についても家族に考えてもらうようにしている。 | | |
| | | | (外部評価) 利用者・ご家族の要望に応じて、看取りのケアを支援できる体制作りがなされている。利用者の状態悪化時等には、ご家族・医師と話し合い、事業所での支援等について検討されている。 | | |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) 終末期についてのスタッフ間での意識はどうかなど、ミーティング等で話し合いを持つ他、統一したケアが行えるよう努めている。また、協力病院に定期的受診することで異常の早期発見を行える。 | | |
| 49 | | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 利用者の状態を見ながら他の場所へ移り住む際の利用者のダメージが最小限になるよう考えている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| <p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> | | | | | |
| <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> | | | | | |
| <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | | | |
| 50 | 20 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | (自己評価) 利用者の尊厳について考えつつ、対応するよう努めている。また、記録においても個人情報について配慮するようにしている。 (外部評価) 職員は、利用者に合わせて方言で話されることもある。ご本人のイントネーションに合わせて会話するよう心がけておられる。 | | |
| 51 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | (自己評価) 利用者とのコミュニケーションを取る中で意思表示してもらったり、利用者が快適に過ごせるようにどうしたらいいかを利用者と一緒に話しながらケアしていくよう努めている。 | | |
| 52 | 21 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) 利用者の生活暦を知り、それに基づいたケアを行うように努めている。 (外部評価) 調査訪問時の食事の時間、落ち着かれない方や食事を飲み込みにくい方にも職員は、ご本人に合わせて、ゆっくりとかかわっておられた。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 利用者には出来るだけ好みの服を着てもらい、必要時援助するようにしている。また、美容や整容はエステや散髪などでも行えるようにしている。 | | |
| 54 | 22 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 利用者の状態によりスタッフと食事の準備をしてもらったりしている。 (外部評価) 利用者個々の状態に合わせて、食器の重さ・深さ等にも配慮し、使いやすいものを準備されている。利用者の状態に合わせて、食事をミキサーにかけるときには、必ず、ご本人に食事をみていただき、了解を得てから行うようにされている。 | | |
| 55 | | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) 利用者の状態など考慮しつつ、嗜好品を楽しんでもらえるようにしている。 | | |
| 56 | | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) 日々の生活の中で排泄パターンを掴み、排泄の自立に向けて関わられるよう努めている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の状態・体調等を見ながら希望時、入浴出来るようにしている。また、季節によって柚子など入れたりして楽しめるようにも工夫している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | お風呂がお好きな利用者も多く、桜の花びらやミカン等を浮かべ、リラックスして入浴を楽しむこともある。併設大浴場の塩湯を楽しまれる方もおられる。 | | |
| 58 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 生活暦や好みを知る他、匂いや温度、光などの要因にも気を配り、安眠できるよう努めている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 利用者一人一人の好きなことなどを知り、ケアに取り入れるように努めている。また、生活歴を知り、それに基づいたケアをたてるようにしている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所では、陶芸・習字・手芸・絵手紙・エステ・俳句等、楽しみごとの機会を設けておられる。週に1回、利用者と一緒におやつ作りをされており、利用者の誕生日には、ご本人のご希望の手作りおやつでお祝いされている。 | | |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の状態に応じ、本人で現金を持っていることもあるが、大部分の人は事務所で預かり、必要時いつでも使えるような状態にしている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|--|
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の体調、様子を見ながら外出をしている。月2回の札所清掃や外出レクなども行っている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 近くの札所参りや近隣にある道の駅に出かけたり、個々の希望に応じて散歩にも出かけておられる。ご家族とともに外食されたり、1~2泊でご自宅に戻られ、ご家族と過ごす方もおられる。併設のデイサービスや有料老人ホームの利用者と一緒に出かけることもある。 | | |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) | | |
| | | | 外出レクなどで利用者の希望を考慮したプランをたてる他、家族とも連携を取り、外出してもらうこともある。 | | |
| 63 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 定期的に本人がレクで作った絵はがきで手紙を書いたりしている。また、電話も要望があれば出来るようにしている。 | | |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) | | |
| | | | フロアや各利用者の居室で居心地よく過ごしてもらえるように努めている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|---|---------------------------|---|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 利用者の安全を考えながら拘束しない方法を考え、行うよう努めている。 | | |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) 上の階に有料老人ホームを併設しているので、プライバシーの保護目的でエレベーターに鍵をつけているが、それ以外は利用者の安全を考えながら鍵をかけないよう努めている。 (外部評価) ビル内の併設施設の利用者もエレベーターを利用することもあり、個々のプライバシー保護の目的で、現在は、エレベーターに鍵をかけておられる。利用者の中には、夕方になると帰りたいと言われる方もおられるが、職員は、ご本人と一緒に外に出て、「フェリーがないね」など、お話等もされながら、ご本人が納得をされるまで付き添っておられる。 | | さらに、今後も、利用者の自由な暮らしを支えていけるよう、利用者が外に出てみようと思えるような雰囲気作りの工夫を重ねていかれることが期待される。 |
| 67 | | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 利用者の状態を見ながらフロアで過ごしてもらったり、常にどこにいて何をしているかを把握しているように努めている。 | | |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 利用者の状態に応じ、ハサミなども居室に置いているがスタッフはそれが誰なのか、どこに置いているかも把握するよう努めている。 | | |
| 69 | | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 利用者の状態を日々観察し、定期的な病院受診もを行い、異常の早期発見に努めている。また、事故発生においてもマニュアルを作成している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| 70 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 事故発生時にはどうすればいいかマニュアルを作っている他、直ぐに医療と連携が取れる体制を取っている。 | | |
| 71 | 27 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 定期的な避難訓練や火災訓練を行い、スタッフは災害時にどう対応すればいいかを身につけている。 (外部評価) 運営推進会議で、災害時、地域の避難場所としてホームを提供できることをお伝えしている。内階段を利用した避難訓練も実施された。 | | さらに、今後、夜間等いろいろな場面を想定した訓練や、又、地域の協力を得られるような体制作り等、すべての利用者が安全に避難できるよう、取り組みを重ねていかれることが期待される。 |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価) 定期的な病院受診を行い、現状を家族に知ってもらうことで利用者の起こりうるリスクを説明している。また、それに基づいた最良のケアを考え、行えるよう努めている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 日中の様子、バイタルサインの変化などから、利用者の早期異常発見に努め、速やかに対応している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 74 | | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 処方箋をカルテに挟むことでスタッフがいつでも薬について学べるようにし、必要に応じ本や看護師などでもより詳しく内服について学べるようにしている。 | | |
| 75 | | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 野菜を多く含む献立や水分を多く摂らせたり、運動してもらつことで便秘予防に努めている。 | | |
| 76 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) 毎食後必ず口腔ケアを行い、またその際に口腔状態の観察も行っている。 | | |
| 77 | 28 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 月1度の体重測定を行い、著しい体重の増減がないか注意している。また、排泄チェックを1日行うことや、水分摂取量を1日トータルで計算していることでも、利用者の状態を把握している。 (外部評価) 献立は、法人の管理栄養士が立てておられ、畑の野菜や地元の醤油・味噌等も使用されている。お茶の入ったペットボトルを準備し、利用者がどのくらい水分摂取したか分かるようにされている。利用者の状態によっては、職員が夜間、水分摂取できるよう声掛けをされる場合もある。 | | |
| 78 | | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | (自己評価) 感染対策マニュアルを作成し、いつでもスタッフが閲覧できるようにしている。また、流行時期には早めに勉強会を開くなどして予防に努めている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|--|---------------------------|--|
| 79 | | <p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>調理器具は清潔に扱えるよう干したり除菌し、また、スタッフもこまめに手洗いをするなどして食中毒を予防している。</p> | | |
| <p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p> | | | | | |
| 80 | | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>季節によって様々な花や道具を飾ったり、また、畑や花壇などを設けることで、会話がしやすい雰囲気を作る工夫をしている。</p> | | |
| 81 | 29 | <p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>異食に注意しながら季節の花や物を飾ったり、明るすぎないトイレの照明にするなどの配慮をしている。また、テレビの音量や匂いなどにも気をつけるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所は、床暖房や24時間換気システムを使用されている。南側の窓は広く大きいのが、フィルムを貼りプライバシー保護の対策を講じておられた。洗面台には、水仙が生けられていた。</p> | | |
| 82 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>フロアにテーブル・椅子だけでなく、ソファを設けることでいつも大勢で過ごすのではなく、少人数での会話なども楽しめるように配慮している。</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) | | |
| | | | 本人の好きな物を飾ったり、持ってきてもらうことで安心して快適に生活できるように工夫している。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 利用者の状態に合わせて、畳を敷いておられる居室もあった。ご本人手作りの作品を飾っている居室や、使い慣れたソファやお好きなぬいぐるみを置かれている居室もうかがえた。 | | |
| 84 | | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) | | |
| | | | こまめに換気し、必要時は乾燥に注意しながら暖房をつける。床暖房が使用できるのでそれも利用し、入居者の方に快適に過ごせるよう努めている。 | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 廊下の手すりや浴室・トイレのバーなどで立位訓練を兼ね、かつ安全に過ごせるような工夫をしている。また、床・居室などに段差がないようなつくりになっている。 | | |
| 86 | | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | トイレや浴室など、公共の物はわかりやすいようにプレートをつくり貼っている。また、居室に戻る際、迷いがちな人も居室の戸口にわかりやすいように好きなものを貼り、混乱を防いでいる。 | | |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 外に畑や花壇を作り入居者で作業したり見学出来るようにしている。 | | |

| . サービスの成果に関する項目 | | |
|-----------------|--|-----------|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない | |

| 項 目 | 取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと) | 判 断 し た 具 体 的 根 拠 |
|-----|---|-------------------|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増してい る (自己 ② 評価) 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない | |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている (自己 ② 評価) 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない | |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 ③ 評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 ③ 評価) 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない | |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)